

### 私のゆめは気象予ほう士

筑波大学附属小学校 三年 井上 奈南

私は毎日、学校に行く前に天気予ほうを見ている。天気予ほうは、かさをもつていたり、長ぐつをはいていたり、いいかや、今日の服そうほうす手でもいいかなど、今日の行動を大きく変える。しかも、天気予ほうは外れることが少なく、すごいと思う。これは大切な仕事なので、天気を予そくする「気象予ほう士」になりたいと思うようになった。

気象予ほう士になるためには、しかくを取ることが必要だ。本を買って読んだり、色々なデータを集めて予そくをする力を身につけなければならぬ。ライフプランを書いてみると、色々な勉強をしていく上で学校の授業料などのお金が必要だとわかった。そのお金を出してくれる親に感しやしななければいけないと思った。

まずは自分が住んでいる文京区の明日の天気を自分で予そくして、実際にどうなったかをたしかめていきたい。やがて、

天気予ほうにきょうみを持つ友だちを見つけて、いっしょに勉強し、せつさたくまをしていけるといいなと思う。

今年の夏は、大がたの台風七号が日本れつ島に上陸し、ひがいが出た。それでも、台風七号が日本にくる前から台風の進路の予想がテレビに出ていたので、多くの人が早めにひなをしたり、物をとばされないようにじゅんびをすることが出来た。台風の進路の予想は、人の命にもかかわる大切なものなので、たくさんの人役に立つものだ。

私もしう来、正かくで分かりやすい天気予ほうを世の中の人々にとどけて役に立ちたいと思う。特に、ニュースで地球温だん化によって台風はますます大がたになるらしいと聞いた。そうすると、今後、台風のひがいも大きくなるおそれがある。そのため、地球温だん化と日本の天気の関係についても調べていきたい。

井上 奈南

のライフプラン

将来なにになりたいか? 気象予ほう士

その理由: 天気予ほうは、外出するかどうかなどの行動に大きなえいきょうをあたえるから、正かな予ほうをしたいため、

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2023年	9才(小3)	天気に関する本を買って、読み始める。	本代
2024年	10才(小4)	自分で文京区の明日の天気をよそくし、ノートに書く。	ノート代
2025年	11才(小5)	気象予ほう士が言葉をしてくれるイベントに参加する。	イベント参加代
2026年	12才(小6)	自分で文京区の一週間の天気をよそくし、ノートに書く。	ノート代
2027年	13才(中1)	気象予ほう士には、特に算数と理科がひつよなのだし、学び。	中学授業料
2028年	14才(中2)	日本全国の天気予そくを自分で発表する。	ノート代
2029年	15才(中3)	学校の部活で、天気よそく部を作り世さたくまする。	部活動代
2030年	16才(高1)	パソコンを使い、台風の進路のよそくを始める。	パソコン代
2031年	17才(高2)	「日本気象学会ジュニアセッション」という大会で発表する。	プレゼンテーション代
2032年	18才(高3)	気象学を学べるじゅけんに向け、勉強する。	じゅけん代
2033年	19才(大1)	大学入学。大学で気象学のまそくを学ぶ。	大学授業料
2034年	20才(大2)	大学のサークルで、世界の天気予ほうを制作、YouTubeにアップする。	パソコン代、サークル活動代
2035年	21才(大3)	気象予ほう士のしけんを受け、しかくを取る。	じゅけん代
2036年	22才(大4)	気象学のろん文を作成し、発表する。	本代
2037年	23才(社会人1年目)	気象予ほう会社に入社し、仕事のまそくを学ぶ。	ようこく代(スーツ)
2038年	24才(2年目)	テレビやラジオのまそく天気キャスターとして、まそくする。	
2061年	47才(25年目)	温だん化と天気の関係も研究し、発表する。	研究代(本代など)